

南山大学広報誌

NANZAN bulletin

vol. 190
2014.9.30



オープンキャンパス

NANZAN
UNIVERSITY

南山大学オープンキャンパス

7月20日に、南山大学オープンキャンパスを名古屋キャンパス、瀬戸キャンパス同時開催しました。開会式・オリエンテーションでは南山の学生がオープンキャンパスの見どころを説明すると共に、カルマノ学長が「現役の留学生、留学経験のある日本人学生と話して、南山大学の特徴の一つである『国境のない学びの場』を味わってみてください。また、多くの教員、職員、そして学生にも積極的に話しかけていただき、皆さんに南山大学の本当の良さを分かってもらえることを期待しています。」と挨拶しました。

当日は全学部学科の学科説明会や模擬授業をはじめ、学生によるキャンパスツアー、入試、留学、奨学金、就職など気にな



る疑問を相談できる相談コーナー、クラブ活動紹介など、多くの企画を実施。名古屋・瀬戸の2つのキャンパス間には、シャトルバスも運行し、一日で両キャンパスを体験することができました。

天候にも恵まれ、どのコーナーも盛況となり、両キャンパス合わせて過去最高の6,837名の方にご来場いただきました。



学科説明会



相談コーナーでは、「学長と語ろうコーナー」も人気

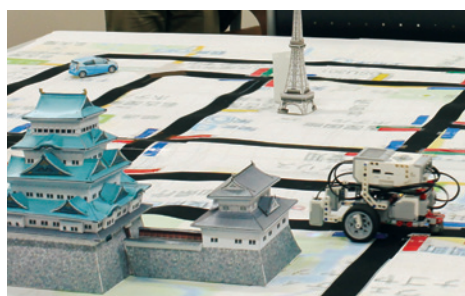


模擬授業：ネイティブの先生による英会話実習



在学生がクラブ活動を紹介するクラブパラダイス

2015年に理工学部が名古屋キャンパスに移転するに伴い、今年度より理工学部の企画は名古屋キャンパスで行いました。理工学部研究室体験ツアーでは、4つの研究室を取り上げ、参加者は実験の実演を通してその仕組みの説明を受けるなど、普段は見ることのできない大学の「研究室」を体験しました。



ソフトウェア工学科の自動走行するロボットカーの実験風景



理工学部研究室体験ツアー

大学で、未来の自分を探してみよう!

南山大学の知的財産を地域に還元することを目的として、小学生(4~6年生)を対象とした連続講座を5講座開講しました。全5講座いずれも大学の教室や施設を利用し、大学の教員や学生と一緒に学ぶ体験型の講座となっており、普段大学に足を運ぶことのない小学生にとっては、大学生になった将来の自分をイメージする機会になったことでしょう。

第1回「わくわくロボットランド」

大学生が制作した玉乗りロボット、セグウェイ型バランスロボットを実際に操作しました。また、物を立てる時の易しさ、難しさの違いを、小学生に身近な文房具を用いた固有振動、共振の実験を通して学びました。参加した小学生からは、「自分でロボット操作したり、実験で内容が理解できてよかった」等の感想が寄せられました。



第2回「いろいろな国の文化を知ろう」

フィリピン、ドイツ、メキシコ、イタリア、コンゴ民主共和国、台湾の6つの国と地域のグループにそれぞれを母国とする教員がつき、小学生が教員に言葉や食べ物、服装、遺跡等のいろいろな質問をしながらその国や地域の文化を学びました。最後にはグループごとに模造紙に情報をまとめ、発表を行いました。「いろいろな国のことが知れて、とても楽しかった。みんなでまとめ、発表するのが初めてで楽しかった。」等の感想が寄せられました。



第3回「パパ、ママのために、便利な商品を開発しよう!」

商品開発の方法、いろいろな商品開発について説明を受けた後、グループにわかれて①ニーズを探す、②解決法を考える、③カタチにする、の順番で考えました。最後に各グループの意見を模造紙にまとめ、発表を行いました。「みんなで意見を出し合うのが楽しかった。商品開発など、考えるのが楽しかった。」等の感想が寄せられました。



第4回「博物館は楽しい!—不思議なモノを見よう!触ろう!」

最初に「博物館の宝を見つけよう!」と題し、配布されたプリントに出ている土器や仮面が展示室のどこにあるか探しました。次に、「君たちも考古学者だ!」と題し、提示された破片が土器のどの部分かを考え、文様ごとに土器片から完全な土器の形を想像してみました。実際に土器に触れる体験、粘土に縄文の模様を付ける体験なども好評でした。



第5回「裁判員を体験しよう!」

司法制度・裁判員制度について説明を行った後、模擬裁判を実演し、交代で裁判官席、検察官席、弁護人席に参加者が座り、実際の裁判の雰囲気を味わいました。その後、裁判にかけられた内容が有罪か無罪かを、学生スタッフも加わったグループに分かれて話し合い、意見を発表しました。「裁判員になった気分がいろいろなことができた。裁判の仕組みがよくわかった。」等の感想が寄せられました。



2013年度決算・2014年度予算について

2013年度は、ランドデザインにおけるキーフレーズ「個の力を、世界の力に。」をふまえて、「学生と教職員とキャンパスのグローバル化」と「南山の特長を活かした開かれた大学」を最重要課題と位置づけ、国際化推進に係る事業を実施しました。

R棟に整備されている英語教育センター、ワールドブラザ、国際教育センター、ジャパンブラザを国際化推進の拠点として、2年目となる「国際科目群」の充実、海外の大学との教員交換プログラム、学生交換プログラムの充実など、様々な取り組みを実施しました。また、2013年10月、R棟地下1階にユニバーサルミュージアムをコンセプトとした人類学博物館をリニューアルオープンしました。

省エネへの取り組みとして、2014年度に行った一部建物の照明LED化による省エネ効果の検証に基づき、2013年度には、教室、研究室、事務室などの照明LED

2013年度決算について

【南山大学】

第1表は、資金収支計算書であり、本学における1年間の活動に伴う収入と支出の資金の記録です。

収入の部の前年度繰越支払資金(31,981百万円)と、支出の部の次年度繰越支払資金(33,281百万円)の差額は1,300百万円であり、これが2013年度の諸活動による資金の増加額です。

収入のうち、手数料収入、補助金収入が予算額に対して決算額が下回りました。差異は、それぞれ44百万円、55百万円となっています。手数料収入については、受験者数減少による入学検定料収入の減少が主な理由で、入学試験における志願者数を比較すると、2014年度入試(2013年度収入)は24,016名、2013年度入試(2012年度収入)は25,097名で1,081名の減少となっています。補助金収入については、経常費に対する補助金の減少が主な理由です。

資産運用収入、雑収入は予算額に対して決算額が上回りました。資産運用収入は経済情勢の回復傾向による運用収入増加が要因となりました。

一方、支出面では人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出ともに予算額内での執行となっています。2015年4月の第1期移転に向けて建物建設工事が始まったことにより、施設関係支出が2,474百万円と大きな金額となっています。なお、例年南山学園の設立母体である神言修道会から、本学に勤務する神言修道会会員の人件費節約額として本学への財政支援をいただいています。2013年度は総額45百万円の援助が

2014年度予算について

【南山大学】

本学における帰属収入の内訳は、学生納付金78.9%、補助金8.1%となっており、学生納付金が帰属収入の大きな部分を占めています。今後も大学の永続的發展のため学生数確保の努力を続けていくことと同時に、補助金・寄付金などの外部資金獲得のため更なる努力を続けていく所存です。2014年度は、2013年度からの継続事業である「国際化推進事業の充実」に加え、次期将来構想実現に向けて「キャンパス統合」「情報センター、国際センターの設置」「新設を含めた学部等の改組・改編」の事業が本格化します。

2014年度の主な事業計画は以下のとおりです。

1. キャンパス統合事業

2015年4月の第1期移転に向けて新棟建設が進ん

化を完了しました。

2013年度は、ランドデザインにおけるキーフレーズ「個の力を、世界の力に。」をふまえて、「学生と教職員とキャンパスのグローバル化」と「南山の特長を活かした開かれた大学」を最重要課題と位置づけ、国際化推進に係る事業を実施しました。

化を完了しました。

2013年9月に「南山大学次期将来構想」を発表いたしました。その概要は「キャンパス統合」「情報センター、国際センターの設置」「新設を含めた学部等の改組・改編」の事業です。特に、キャンパス統合は、理工学部と理工学研究科、ならびに総合政策学部と社会科学研究科総合政策学専攻を瀬戸キャンパスから名古屋キャンパスに移転するという計画で、すでに2015年4月の第1期移転に向けて建物建設工事が開始されました。

本学では、「NANZAN bulletin」「南山大学概要」「南山大学公式Webページ」において財政状況を公開し、透明性確保に努めています。以下に、2013年度決算および2014年度予算について、財務諸表をもとに説明します。

あり、パッへ研究奨励金等の原資として充当しました。

第1表の資金収支計算書が、本学の資金にかかる収入および支出の顔末を表しているのに対し、第2表の消費収支計算書では、本学の経営状態が健全かどうかを示すための収支状況を表しています。帰属収入（負債とはならない収入13,129百万円）から、基本金組入額（設備投資等に充当される額822百万円）を控除した残額を消費収入といい(12,307百万円)、この消費収入と、純資産の減少をもたらす消費支出(12,077百万円)との差額230百万円が、当年度消費収入超過額となりました。前年度繰越消費収入超過額3,531百万円と合せて、翌年度繰越消費収入超過額は3,761百万円となりました。

第3表の貸借対照表は、2014年3月31日現在における総資産、負債、自己資金（基本金+翌年度繰越消費収支差額）の状態を表わしています。資産の部では、固定資産が171百万円増加しました。内訳としては、有形固定資産は建物建設工事開始に伴い建設仮定の増加などにより1,576百万円増加、その他の固定資産は第2号基本金の統合と建物建設工事に伴う支払いにより1,405百万円減少しました。さらに流動資産は、現金預金等の増加により1,170百万円増加しました。この結果、総資産は1,341百万円増加となりました。他方、負債の部は290百万円増加、基本金の部は822百万円増加、翌年度繰越消費収入超過額は230百万円の増加となり、自己資金は1,051百万円増加となりました。

2015年2月に完成する予定です。さらに2017年4月の第2期移転に向けて名古屋キャンパスの整備などの準備を開始します。
2. 南山大学国際化推進事業
海外派遣と受け入れの両面から留学プログラムを充実させます。また現在総合政策学部で行っている日本語未修の留学生受け入れを他学部でも展開するよう検討します。
3. 情報センター、国際センターの設置
キャンパス統合事業に合わせて、情報センターと国際センターを新たに設置します。情報センターは名古屋キャンパスにおける情報環境の整備を図るために、国際センターは現在の国際教育センターを強化・拡大して、より広く国際的な教育および研究の支援をするために、設置する予定で、その準備を開始します。

南山大学

支出の部			収入の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
人件費支出（教員人件費）	6,924,165	6,690,406	学生納付金収入（授業料）	10,344,032	10,352,393
（職員人件費）	(4,868,257)	(4,680,772)	（入学料）	(7,147,689)	(7,159,731)
（退職金）	(1,627,712)	(1,551,974)	（実習料）	(1,142,800)	(1,142,800)
教育研究経費支出	(428,196)	(457,660)	（教育実習料）	(109,598)	(103,341)
管理経費支出	2,698,422	2,527,375	（施設設備費）	(3,661)	(3,571)
借入金等利息支出	878,471	847,493	（入学金）	(1,940,284)	(1,942,950)
借入金等返済支出	57,458	57,455	手数料収入	797,901	754,275
借入金等返済支出	193,610	193,610	（入学検定料）	(683,431)	(636,682)
施設関係支出	2,474,226	2,474,172	（その他の手数料）	(114,470)	(117,593)
設備関係支出	188,363	161,313	寄付金収入	182,813	187,510
資産運用支出	2,600,000	2,600,000	補助金収入	1,121,240	1,066,542
その他の支出	2,271,038	2,301,880	資産運用収入	149,877	196,706
法人本部費配賦額	578,519	568,346	資産売却収入	201	219
資金支出調整勘定	△ 265,070	△ 276,897	事業収入	199,110	205,295
次年度繰越支払資金	32,533,213	33,281,399	雑収入	326,903	363,720
			借入金収入	0	0
			前受金収入	2,259,537	2,482,826
			その他の収入	6,380,788	6,442,486
			資金収入調整勘定	△ 2,602,209	△ 2,606,642
			前年度繰越支払資金	31,981,222	31,981,222
支出の部合計	51,141,415	51,426,552	収入の部合計	51,141,415	51,426,552

(注)予算額は補正予算額

消費支出の部			消費収入の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
人件費	7,142,671	6,959,038	学生納付金	10,344,032	10,352,393
教育研究経費	3,697,924	3,507,763	手数料	797,901	754,275
（内、減価償却額）	(999,500)	(981,632)	寄付金	183,813	189,509
管理経費	990,421	971,867	補助金	1,121,240	1,066,542
（内、減価償却額）	(111,950)	(123,019)	資産運用収入	149,877	196,706
借入金等利息	57,458	57,455	資産売却差額	172	172
資産処分差額	26,470	24,856	事業収入	199,110	205,295
徴収不能引当金繰入額	0	5,865	雑収入	329,036	363,722
法人本部費配賦額	553,481	550,308	帰属収入合計	13,125,181	13,128,614
			基本金組入額合計	△ 940,864	△ 821,801
消費支出の部合計	12,468,425	12,077,152	消費収入の部合計	12,184,317	12,306,813

(注)予算額は補正予算額

消費支出の部合計			消費収入の部合計		
当年度消費収入(△支出)超過額	△ 284,108	229,661			
前年度繰越消費収入(△支出)超過額	3,531,397	3,531,397			
基本金取崩額	0	0			
翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	3,247,289	3,761,058			

(注)予算額は補正予算額

科目	2013年度末	2012年度末	増減	科目	2013年度末	2012年度末	増減
資産の部				負債の部			
固定資産	32,996,015	32,824,508	171,507	固定負債	5,471,784	5,420,550	51,234
有形固定資産	27,859,612	26,283,052	1,576,560	長期借入金	2,726,300	2,919,610	△ 193,310
土地	3,581,485	3,581,485	0	退職給与引当金	2,264,724	1,996,093	268,631
建物	14,965,444	15,482,537	△ 517,093	長期預り金	237,623	233,480	4,143
構築物	468,740	555,838	△ 87,098	長期未払金	243,137	271,367	△ 28,230
教育研究用機器備品	336,235	386,740	△ 50,505	流動負債	3,365,056	3,126,260	238,796
その他の機器備品	9,876	11,685	△ 1,809	短期借入金	193,310	193,610	△ 300
図書	6,182,931	6,114,960	67,971	未払金	239,185	228,663	10,522
車両	1	3,749	△ 3,748	前受金	2,482,826	2,281,436	201,390
建設仮勘定	2,314,900	146,058	2,168,842	預り金	449,735	422,551	27,184
その他の固定資産	5,136,403	6,541,456	△ 1,405,053	負債の部合計	8,836,840	8,546,810	290,030
電話加入権	6,301	6,301	0	基本金の部			
施設利用権	2,371	2,371	0	第1号基本金	42,457,012	40,336,822	2,120,190
長期貸付金	204,331	258,402	△ 54,071	第2号基本金	4,582,670	5,882,670	△1,300,000
差入保証金	0	440	△ 440	第3号基本金	6,186,203	6,184,592	1,611
ソフトウェア	150,730	201,272	△ 50,542	第4号基本金	844,400	844,400	0
退職給与引当特定資産	140,000	140,000	0	基本金の部合計	54,070,285	53,248,484	821,801
南山大学名古屋C施設整備整備資金	4,582,670	3,982,670	600,000	消費収支差額の部			
南山大学瀬戸C施設設備整備資金	0	1,900,000	△ 1,900,000	翌年度繰越消費収入(△支出)超過額	3,761,058	3,531,397	229,661
南山大学名古屋C施設設備拡充引当預金	50,000	50,000	0	消費収支差額の部合計	3,761,058	3,531,397	229,661
流動資産	33,672,168	32,502,183	1,169,985				
現金預金	33,281,399	31,981,222	1,300,177				
未収入金	326,705	450,981	△ 124,276				
立替金	4,023	1,050	2,973				
前払金	56,858	66,028	△ 9,170				
貯蔵品	3,183	2,902	281				
資産の部合計	66,668,183	65,326,691	1,341,492				

維持していく所存です。今後ともご理解、ご支援をお願いいたします。

（大学事務部長 沢口定雄）

第4表 財務比率

比率	計算式	南山大学			他大学	評価
		2011年度	2012年度	2013年度	2012年度	
人件費比率	人件費／帰属収入	50.8%	51.3%	53.0%	52.2%	↓
人件費依存率	人件費／学生納入金	64.6%	66.7%	67.2%	64.1%	↓
教育研究経費比率	教育研究経費／帰属収入	26.3%	25.4%	26.7%	30.6%	↑
管理経費比率	管理経費／帰属収入	6.7%	6.0%	7.4%	8.3%	↓
借入金等利息比率	借入金等利息／帰属収入	0.4%	0.4%	0.4%	0.2%	↓
学生生徒等納付金比率	学生納入金／帰属収入	78.6%	76.8%	78.9%	81.5%	↑
補助金比率	補助金／帰属収入	8.8%	8.0%	8.1%	8.0%	↑
基本金組入率	基本金組入額／帰属収入	10.7%	9.2%	6.3%	9.6%	↑
減価償却費比率	減価償却額／消費支出	8.6%	9.2%	9.1%	11.4%	～

比率	南山大学(2013年度)	他大学文他複数学部(2012年度)
人件費	53.0%	52.2%
教育研究経費	26.7%	30.6%
管理経費	7.4%	8.3%
その他の消費支出額	4.9%	0.9%
基本金組入額+消費収支差額	8.0%	7.9%

比率	計算式	南山大学		他大学	評価
		2012年度	2013年度	2012年度	
自己資金構成比率	自己資金／総資金	87.0%	86.7%	87.2%	↑
消費収支差額構成比率	消費収支差額／総資金	5.4%	5.6%	△11.2%	↑
流動比率(※)	流動資産／流動負債	848.9%	816.8%	237.1%	↑
減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	50.8%	52.5%	47.1%	～
総負債比率	総負債／総資産	13.0%	13.3%	12.8%	↓
負債比率	総負債／自己資金	15.0%	15.3%	14.7%	↓

(注)他大学の数値は、日本私立学校振興・共済事業団平成25年度版「今日の私学財政」より、消費収支関連については文他複数学部の大学部門の平均を、貸借対照表関連は文他複数学部を有する大学法人全体の平均をそれぞれ掲載した。

評価は、それぞれの大学の特殊性があり一概にはいえないが、一般的には「↑」は数値が高い方がよく、「↓」は数値が低い方がよく、「～」はどちらともいえないとされている。

自己資金＝基本金+消費収支差額

総資金＝負債+基本金+消費収支差額

総負債＝固定負債+流動負債

(※)南山大学の流動比率は流動資産から第3号基本金額を差し引いた額を分子とした。

支出の部		収入の部	
科目	予算額	科目	予算額
人件費支出（教員人件費）	6,715,818	学生納付金収入	10,242,782
（職員人件費）	(4,818,432)	（授業料）	(7,056,288)
（入学金）	(1,142,275)	（入学料）	(1,142,900)
（退職金）	(276,111)	（実習料）	(122,472)
教育研究経費支出	2,920,276	（教育実習料）	(4,679)
管理経費支出	945,656	（施設設備費）	(1,916,443)
借入金等利息支出	53,638	手数料収入	799,551
借入金等返済支出	193,310	（入学検定料）	(684,319)
施設関係支出	4,659,129	（その他の手数料）	(115,232)
設備関係支出	526,816	寄付金収入	183,541
資産運用支出	700,000	補助金収入	1,110,350
その他の支出	2,195,672	資産運用収入	82,416
予備費	25,694	資産売却収入	30
法人本部費配賦額	530,262	事業収入	208,135
資金支出調整勘定	△ 259,922	雑収入	219,250
次年度繰越支払資金	33,082,264	借入金収入	2,000,000
		前受金収入	2,270,768
		その他の収入	5,147,118
		資金収入調整勘定	△ 2,508,541
		前年度繰越支払資金	32,533,213
支出の部合計	52,288,613	収入の部合計	52,288,613

消費支出の部		消費収入の部	
科目	予算額	科目	予算額
人件費	6,652,417	学生納付金	10,242,782
教育研究経費	3,883,549	手数料	799,551
（内、減価償却額）	(963,271)	寄付金	184,541
管理経費	1,047,209	補助金	1,110,350
（内、減価償却額）	(100,257)	資産運用収入	82,416
借入金等利息	53,638	資産売却差額	1
資産処分差額	24,500	事業収入	208,135
徴収不能引当金繰入額	0	雑収入	219,263
法人本部費配賦額	512,224	帰属収入合計	12,847,039
予備費	25,694	基本金組入額合計	△ 946,108
消費支出の部合計	12,199,231	消費収入の部合計	11,900,931

一人ひとりと向き合う姿勢を大切に

宇佐見 昌代

総合政策学部総合政策学科 2012年度卒業



現在、株式会社中広にて、販促物の制作や自社で発行するフリーマガジン「名古屋フリモ」等の営業として仕事をしています。

就職活動中、広告業界はより多くの人に出会えるという情報を得て、人と関わることが好きな私はこの業界に飛び込もうと決意しました。また、自社で発行するフリーマガジンは「地域みっちゃん生活情報誌」という冠をつけており、その名の通り地域性の高いもので、単純に地元が好き、地元を盛り上げたいという思いから、入社を決めました。

入社してみると、実際に多くの業界の人と出会い、行政や教育関係、サービス業の方など様々です。自分自身も毎日が勉強です。クライアントへデザインや企画のご提案をし成功に繋がったときは、お役に立てて良かったとやりがいを感じます。どのクライアントへも真剣に向き合うことを大切に、日々努めています。

その姿勢は大学時代で出会ったサークルの友人が、私を成長させてくれたおかげだと思います。大学生活を充実させたい、そう思った私はパレ-

2013年4月、広告代理店の株式会社中広に新卒入社。広告SP事業部に配属、営業として働いている。

ボールサークルに参加しました。まさかここまで成長できるとは思っていませんでした。

サークルメンバー数は約70名。大学3年生の時、その大人数をまとめる役割の副主幹を務めました。人数が大変多いため、個性も様々です。一人ひとりに対して真摯に向き合い、個々の考えを大事にしてきました。そこで他人の意見を聞き自分の中へ吸収することを学びました。多くの仲間に出会い、仲間から重要な役を任せてもらったことに感謝しています。そんな経験をしていなかったら、きっと今の私はありません。

出会った人、まわりの人は自分自身を形成してくれます。そんな身近な人を大切にしなければ、これからも私は成長できないと考えています。今後も人を大切にし向き合っていきたいと思っています。



サークル活動、最後の日の集合写真

Special events

6.21

南山大学社会倫理研究所・南山学会 合同主催公開シンポジウム2014 「工業化と企業家精神—ヨハネス・ヒルシュマイヤーの時代—」

6月21日に南山大学社会倫理研究所と南山学会の合同主催で、第三代学長故ヨハネス・ヒルシュマイヤー名誉教授の著作集『工業化と企業家精神』（日本経済評論社）の刊行を記念した公開シンポジウムを開催しました。学生、研究者、一般の方々が登場する中、日本の経営史学界と企業家研究界を代表する研究者の方々による講演とパネル・ディスカッションが行われ、故ヒルシュマイヤー名誉教授が残した研究業績の現代的意義について、様々な角度から語り起こされる「発見」の4時間となりました。



8.4-6、8-9

2014年度 南山大学夏休み水泳教室

南山大学内プールでの夏の恒例行事「夏休み水泳教室」を、8月4日～6日、8日～9日に開催しました。

この教室は、事前申込された小・中学生を対象に本学水泳部の学生が5日間にわたり泳ぎ方を教えるもので、以前の受講者がくり返し受講されることもある人気の教室です。初日には開会式を行い、受講者全員で注意事項を読み上げた後、いよいよプールでの練習が始まりました。例年受講者からは泳げるようになったとの声を聞くことができ、今年もたくさんの受講者の方々が楽しみながら泳ぎの上達を目指しました。



Information

◆ 退職 2014年8月31日付

●外国語学部

客員教授 福井 康人

●外国人留学生別科

語学講師(別科L1) 富倉 教子

◆ 新任教員紹介

●経済学部

教授 岸野 悦朗(専攻分野:租税論)

※2014年7月15日任用

●外国人留学生別科

語学講師(別科L1) 伊東 克洋(専攻分野:日本語教育)

※2014年9月1日任用

活躍する南山大生

総合政策学部 石川ゼミナールの 学生が受賞



愛知学長懇話会主催ESD大学生リレー・シンポジウムにおいて、本学総合政策学部石川ゼミナールの学生が2つの活動報告を行い、「あいちESD大学生アワード」最優秀賞と優秀賞をそれぞれ受賞しました。

ESD大学生リレー・シンポジウムとは、持

続可能な開発のための教育(ESD:Education for Sustainable Development)に関するユネスコ世界会議が2014年11月に名古屋で開催されるのに伴い、愛知学長懇話会主催で県内7大学で開催されているシンポジウムです。7月5日名古屋市立大学開催の第4回シンポジウムにて、テーマ「経済と持続可能性」で最優秀賞を、7月12日名古屋学院大学開催の第5回シンポジウムにて、テーマ「人々の暮らしと持続可能性」で優秀賞を受賞しました。

外国語学部の学生が アメリカ合衆国独立記念日 祝賀レセプションにて司会



7月3日に行われた在名古屋米国領事館主催のアメリカ合衆国独立記念日祝賀レセプションにて、外国語学部英米学科4年の杉坂真由さんが司会を務めました。名古屋の政財界の要人が

集まる会で日英二カ国語を使いながら大役を果たし、ステイブン・G・コバチーチ首席領事からも感謝とお褒めの言葉をいただきました。杉坂さんは、「指導教員である山岸先生の紹介により、司会を務めることになりました。初めての経験でとても緊張しましたが、大学の授業で行った英語での発表や、スピーチの経験を生かすことができたと思います。」と感想を語ってくれました。

News

就活時期の変更に対応した支援プログラムを実施!

2016年3月卒業予定者から大きく変更となる就職・採用活動スケジュールに対応して、特に年明け2015年1~3月の支援プログラムを充実します。学生の皆さんは是非参加してください。

キャリアサポートプログラム(全学年対象)

10月~

希望進路別ガイダンス『エアライン』、『マスコミ(新聞・放送)』(広告・出版)』
テーマ別ワークショップ『海外と関わる仕事』、『女性の働き方(一般職・総合職)』
キャリアを考えよう! など

就職支援プログラム(2016年3月卒業予定者向け)

9月	第2回就職ガイダンス(これまでの振り返り、秋学期のスケジュールの確認など)
9月~1月	就職講座①~⑪(『筆記試験対策』・『自己理解』・『業界・職種研究』など) 短大部キャリア教育セミナー①~⑥(『ビジネスマナー』・『応募書類のまとも方』など)
10月	外国人留学生就職ガイダンス、SPI模試(有料)
11月	グループワーク体験講座、公務員模試(~2015年7月:有料)
11月~2月	業界・職種研究会(業界を代表する企業で活躍する卒業生や人事担当者が説明)
12月	Uターンガイダンス、他大学交流型グループディスカッション対策講座
1月	第3回就職ガイダンス(企業人事担当者による電話応対や模擬面接)
2月	ES(エントリーシート)・面接準備ワークショップ
3月	学内会社説明会

Special events Schedule

10.11

野外宗教劇 「受難」

10月11日(土)18:00
~[雨天の場合10月18日(土)に延期]、名古屋キャンパスのパヴェ・スクエアにて今年で48回目となる野外宗教劇「受難」が上演されます。

10.25

受験生のための入試相談会・ 保護者のための オープンキャンパス

10月25日(土)11:00~16:00に、名古屋キャンパスにて受験生のための入試相談会と保護者のためのオープンキャンパスが同時開催されます。一般入試・全学統一入試・センター利用入試の受験予定者と高校生の保護者向けのイベントです。

11.1-4

大学祭

名古屋キャンパスでは11月1日~4日に大学祭が、瀬戸キャンパスでは11月2日、3日に聖南祭が開催されます。今年の名古屋キャンパス大学祭のテーマは「サーカス」、瀬戸キャンパス聖南祭のテーマは「祭遊記」です。

私の研究



あかさ・きよし
理工学部
ソフトウェア工学科 教授

専攻分野は「ソフトウェア工学」、
研究テーマは「ソフトウェアロボティクス」、
「知的ソフトウェア開発環境」。

ソフトウェア開発とコミュニケーション

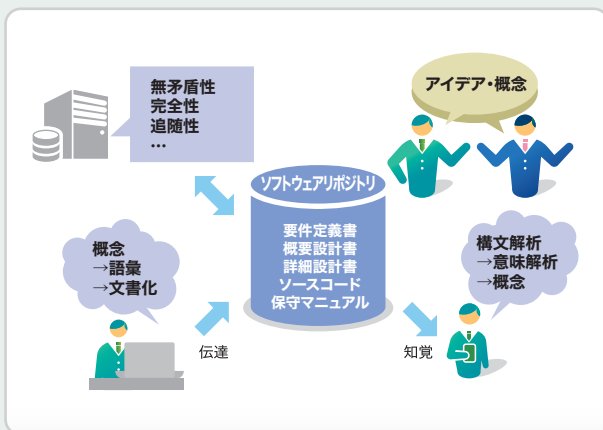
阿草 清滋

「計算機科学は記述の科学である。」と大学の恩師に教わりました。ソフトウェア開発に関する実践的な研究に従事するうちにその言葉が大きなものとなってきました。

計算機科学は数学と関連が深いとされていますが、数学は記号と記法を駆使する学問です。計算機科学とソフトウェア工学の関係は微妙です。ソフトウェア工学は計算機科学の分野に属さないとか、ソフトウェア工学はそもそも学問でないという意見がありますが、私はソフトウェア工学はソフトウェア開発・運用・保守を効率的に遂行するための理論、方法論、ツール等の研究を指すと考えて、それらの活動を計算機援用支援する研究を進めてきました。

ソフトウェア開発においては要件定義書、設計書、ソースコード、保守マニュアル等、多くの文書が作成されます。大規模なシステム開発においては多くの技術者が関わるので、その技術者間での確認事項が全て文書の形で記録されます。ソフトウェア工学での研究成果としての開発方法論は、それに基づく記述言語、その記述支援、言

語処理系等がセットになっています。この記述は計算機処理対象という観点で計算機とのコミュニケーションであり、共同開発という観点で人とのコミュニケーションです。身近な例でいえば、ソースコードは計算機処理され実行されるという意味で計算機への指示であるとともに、それを保守する人への開発意図の伝達であり、伝言です。そのため、計算機との対話と人との対話をシームレスにつなぐにはどうすべきか、その記述法と管理法の研究を中心に行なっています。



私のクラス



なかお・ようこ
経営学部
経営学科 准教授

専攻分野は心理学、人間関係トレーニング、
研究テーマは人間関係トレーニング・プログラムの開発と実践研究。
主な担当科目は心理学、組織心理学、経営演習など。

『関わり』を通して学ぶ

中尾 陽子

私は、南山大学の経営学部部に所属しています。専門が心理学ということで、学生さんから「なぜ心理学の先生が経営学部なんですか?」と尋ねられることもあります。実は、心理学と経営学って、とても仲のいい学問なのです。私は、心理学の中でも人間関係のトレーニングに関心があるため、学生さん同士がよりよい人間関係を築く力を養うことを、また、そのような力を社会の中で発揮していただくことを目指して、ゼミの時間を中心に、『ラボラトリー方式の体験学習』という学び方を用いた授業を行っています。写真は、昨年のゼミ合宿時のものですが、3・4年生のゼミ生が合同で、4年生の就職活動体験をもとに自分達で考えた実習に取り組み、その体験のふりかえりとフィードバックを通して、お互いに気づきや学びを深め合いました。

私は、共通教育の心理学などのいわゆる講義科目でも、出来る限り受講生同士が関わりを持ち、お互いの意見を話し、聴きあえる機会を設けるようにしています。このような場面では、自分が苦手とするコミュニケーションに

チャレンジしたり、他者との意見の違いから自分らしさやその人らしさを見つけ出していく学生さんの姿に度々出遭うことができ、私にとっても大きな喜びを感じる時間です。大人数の講義はどうしても受け身になりがちですが、南山のように規模の大きな大学は、こういう授業こそ、異なる学部学科の方同士が時間と空間を共にし、刺激し合う絶好のチャンス。準備は少し大変ですが、これからも、他者との関わりを通して学ぶ場面を積極的に作っていきたいと考えています。



◆ 後援会定例評議員会

6月28日(土)キャッスルプラザにおいて、南山大学後援会定例評議員会が開催されました。南山大学後援会は在学生の父母等によって組織されており、当日は理事・評議員に就任いただいている役員の皆様から117名の方に出席いただきました。

議事においては、(1)2013年度事業報告および決算報告について(2)役員を選任について(3)2014年度事業計画および予算について決議され、2014年度の事業内容として、9月27日(土)名古屋・瀬戸両キャンパスにおいて第42回「父母の集い」を開催することが決定されました。



後援会Webページ
<http://www.nanzan-u.ac.jp/Menu/kouenkai/index.html>

後援会貸借対照表 2014年3月31日現在(単位:円)

借方		貸方	
預金	152,182,642	課外活動援助基金	107,724,604
		事故対策基金	41,184,063
		次期繰越金	3,273,975
合計	152,182,642	合計	152,182,642

◆ 友の会評議員会・総会

7月16日(水)ホテル名古屋ガーデンパレスにおいて、南山大学友の会評議員会・総会が開催されました。友の会は南山大学をご支援いただいている地域社会の一般および法人会員によって組織されており、本年7月16日現在の会員数は一般会員288名、法人会員109法人となっています。

総会では、(1)2013年度事業報告および決算報告について(2)2014年度事業計画(案)および予算(案)について審議され、それぞれ承認されました。議事終了後、今年度の友の会給付奨学金を受給する外国人留学生および日本人の海外留学(派遣)奨学生も参加させていただき、安井義博会長より奨学生採用通知書が授与されました。また、その後行われた懇親会の席においても、留学生と友の会会員の皆様との間で積極的な交流が図られ、友の会会員の皆様より多くの温かい励ましのお言葉を頂戴いたしました。

寄附者ご芳名

「南山大学将来構想募金」へのご協力に感謝いたします。

岡谷鋼機株式会社 武田 正博 様 青木 清 様
 代表取締役 岡谷 篤一 様 齋藤 寛子 様 中矢 俊博 様
 岡谷鋼機株式会社 鈴木 敦夫 様 津村 俊充 様
 南山大学OB一同 様 岡田 順一 様 佐々木克巳 様
 株式会社サンゲツ 浅香 幸枝 様 土屋 玲 様
 代表取締役社長 安田 正介 様

後援会収支計算書および予算書

(単位:円)

科目	2013年度決算	2014年度予算
収入の部		
前期繰越金	2,598,760	3,273,975
入会金	2,226,000	2,444,000
会費	179,430,000	180,170,000
基金運用利息	143,451	0
合計	184,398,211	185,887,975
支出の部		
教育・研究活動等支援援助金	168,000,000	170,000,000
留学生支援活動援助費	(72,993,000)	(70,000,000)
教育研究図書援助費	(47,007,000)	(52,000,000)
広報活動援助費	(10,000,000)	(10,000,000)
課外活動援助費	(30,000,000)	(30,000,000)
就職指導活動費	(8,000,000)	(8,000,000)
後援会活動費	8,980,785	9,435,000
父母の集い	(1,532,102)	(1,615,000)
就職活動援助費	(1,200,000)	(1,200,000)
広報費	(5,108,823)	(5,420,000)
事務費	(1,139,860)	(1,200,000)
課外活動援助基金積立	4,000,000	4,000,000
課外活動援助基金積立利息	102,308	0
事故対策基金積立利息	41,143	0
予備費	0	400,000
次期繰越金	3,273,975	2,052,975
合計	184,398,211	185,887,975

《基金内訳》

(単位:円)

課外活動援助基金		事故対策基金	
前期繰越金	103,622,296	前期繰越金	41,142,920
当年度積立金	4,000,000	当年度積立金	0
運用利息	102,308	運用利息	41,143
合計	107,724,604	合計	41,184,063



南山大学友の会会員募集中

南山大学の教育・研究活動にご支援いただける一般および法人会員を募集しております。

[年会費] 一般会員 1口 10,000円 法人会員 1口 30,000円
 ※何口でもお申込みいただけます。

友の会Webページ
<http://www.nanzan-u.ac.jp/tomonokai/index.html>

「南山大学教育研究支援」へのご協力に感謝いたします。

南山大学同窓会 様 村雲 知巳 様
 武田 正博 様 佐藤 進 様
 田原 学 様 株式会社名古屋銀行 様
 早野 俊成 様
 杉本 秀夫 様
 三機工業株式会社 中部支社 様



南山大学

発行 学長室
 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18
 Phone : 052-832-3113(直通)
 E-mail: gaku-koho@nanzan.ac.jp
<http://www.nanzan-u.ac.jp/>